

「良食味・高品質米生産のための適期刈取り」について

宮城県米づくり推進本部
平成30年8月30日

○平成30年産米は出穂期が平年より早まったため、収穫適期も早まります。刈遅れのないように準備を早め、「適期刈取り」による良食味・高品質米の生産に努めましょう！

- ・ 本年の出穂期（県内水稻の50%が出穂した日）は7月31日で、平年より4日早まりました。7月31日に収穫を迎えた北部平坦地帯における中生品種（ひとめぼれ等）の刈取適期は、9月9日頃から9月18日頃になると見込まれます。（表1参照）
- ・ 出穂期、㎡当たり籾数などの違いにより登熟の進展に差が生じると考えられますので、ほ場ごとに籾の熟色等をよく観察して刈取適期を判定し、刈遅れ等に注意しましょう。

1 刈取適期の判定

(1) 出穂日からみた刈取適期の目安

- 出穂後の積算平均気温からみた刈取適期の目安は、「ひとめぼれ」では940℃～1,100℃となります。アメダス地点別に、出穂日から見た刈取適期の目安(表1)を参考に、適期刈取りを行いましょう。
 - ・ 積算平均気温1,100℃超過（刈遅れ）では、食味・品質が確実に低下するので、刈取適期内にあってもできるだけ早めに刈り取る。
 - ・ ㎡当たり籾数が少ないと刈取適期が早まるが、籾数が多くなっても刈取晩限があまり遅くならないことに注意する。
 - ・ 倒伏したほ場では、穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに収穫する。

表1 出穂期・地帯区分別刈取適期の目安(出穂後の積算平均気温から試算)

| 地帯区分 | アメダス地点 | 基準温度 | 出穂日 | | | | |
|--------|--------|--------|-------|-----------------|------|-------|-------|
| | | | 7月26日 | 7月31日 (県出穂期) | 8月5日 | 8月10日 | 8月15日 |
| 三陸沿岸 | 気仙沼 | 940℃ | 9/5 | 9/11 | 9/17 | 9/23 | 9/30 |
| | | 1,000℃ | 9/8 | 9/14 | 9/21 | 9/26 | 10/4 |
| | 1,100℃ | 9/13 | 9/19 | 9/26 | 10/2 | 10/11 | |
| | 志津川 | 940℃ | 9/5 | 9/10 | 9/17 | 9/22 | 9/30 |
| 1,000℃ | | 9/7 | 9/13 | 9/20 | 9/26 | 10/3 | |
| 山間高冷 | 新川 | 940℃ | 9/7 | 9/13 | 9/20 | 9/26 | 10/4 |
| | | 1,000℃ | 9/10 | 9/16 | 9/23 | 9/30 | 10/8 |
| | 1,100℃ | 9/15 | 9/22 | 9/29 | 10/6 | 10/16 | |
| | 築館 | 940℃ | 9/4 | 9/10 | 9/16 | 9/22 | 9/30 |
| 1,000℃ | | 9/7 | 9/13 | 9/19 | 9/26 | 10/4 | |
| 北部平坦 | 米山 | 940℃ | 9/3 | 9/9 | 9/16 | 9/22 | 9/29 |
| | | 1,000℃ | 9/6 | 9/12 | 9/19 | 9/25 | 10/3 |
| | 1,100℃ | 9/11 | 9/17 | 9/24 | 10/1 | 10/9 | |
| | 古川 | 940℃ | 9/4 | 9/10 | 9/16 | 9/22 | 9/29 |
| 1,000℃ | | 9/6 | 9/12 | 9/19 | 9/25 | 10/3 | |
| 鹿島台 | 大衡 | 940℃ | 9/4 | 9/10 | 9/16 | 9/22 | 9/29 |
| | | 1,000℃ | 9/6 | 9/12 | 9/19 | 9/25 | 10/3 |
| | 1,100℃ | 9/11 | 9/18 | 9/25 | 10/1 | 10/10 | |
| | 石巻 | 940℃ | 9/4 | 9/9 | 9/16 | 9/22 | 9/29 |
| 1,000℃ | | 9/6 | 9/12 | 9/19 | 9/24 | 10/2 | |
| 仙台湾岸 | 仙台 | 940℃ | 9/2 | 9/7 | 9/14 | 9/19 | 9/26 |
| | | 1,000℃ | 9/4 | 9/10 | 9/17 | 9/23 | 9/30 |
| | 1,100℃ | 9/9 | 9/15 | 9/22 | 9/28 | 10/5 | |
| | 名取 | 940℃ | 9/3 | 9/8 | 9/15 | 9/20 | 9/27 |
| 1,000℃ | | 9/5 | 9/11 | 9/17 | 9/23 | 9/30 | |
| 西部丘陵 | 白石 | 940℃ | 9/3 | 9/9 | 9/15 | 9/21 | 9/28 |
| | | 1,000℃ | 9/6 | 9/12 | 9/18 | 9/24 | 10/1 |
| | 1,100℃ | 9/11 | 9/17 | 9/24 | 10/1 | 10/8 | |
| | 川渡 | 940℃ | 9/5 | 9/11 | 9/18 | 9/24 | 10/2 |
| 1,000℃ | | 9/8 | 9/15 | 9/22 | 9/28 | 10/6 | |
| 南部平坦 | 丸森 | 940℃ | 9/2 | 9/8 | 9/15 | 9/21 | 9/28 |
| | | 1,000℃ | 9/5 | 9/11 | 9/18 | 9/24 | 10/1 |
| | 1,100℃ | 9/10 | 9/16 | 9/23 | 9/30 | 10/8 | |

注1) 気温の積算値は8月27日までは各地点の実測値、8月28日以降はアメダスの平年値を用いた。

注2) 出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日からの積算平均気温が940℃(「ひとめぼれ」の刈取早限)、1000℃(同刈取適期)、1100℃(同刈取晩限)を超えた日とした。

注3) 本年の県平均出穂期は7/31(平年値8/4)。

表1の見方

古川で7/31に出穂したほ場では、9/10～18が刈取適期となる、と見込まれます。

(参考) 平成30年産地区別の出穂状況

| 地区名 | 大河原 | 仙台 | 大崎 | 栗原 | 登米 | 石巻 | 気仙沼 | 県計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出穂始期 | 7月25日 | 7月28日 | 7月29日 | 7月27日 | 7月29日 | 7月29日 | 8月1日 | 7月28日 |
| 出穂期 | 7月28日 | 8月1日 | 8月1日 | 7月31日 | 7月31日 | 8月1日 | 8月4日 | 7月31日 |
| 穂揃期 | 8月10日 | 8月8日 | 8月8日 | 8月12日 | 8月6日 | 8月10日 | 8月11日 | 8月9日 |

(2) 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定

ひとめぼれでは、平均的穂数株(枝梗数8)の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます。

成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始(籾黄化判定開始)

成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ黄化(90%) (7日以内で刈取り早限)

成熟段階Ⅲ：第1位籾が殆ど黄化し(95%)、第2、3位籾が黄化開始(刈取り早限)

成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2、3位籾が30%黄化(積算気温1000℃程度)

成熟段階Ⅴ：第2、3位籾が50%以上黄化(刈取り晩限)

刈取適期

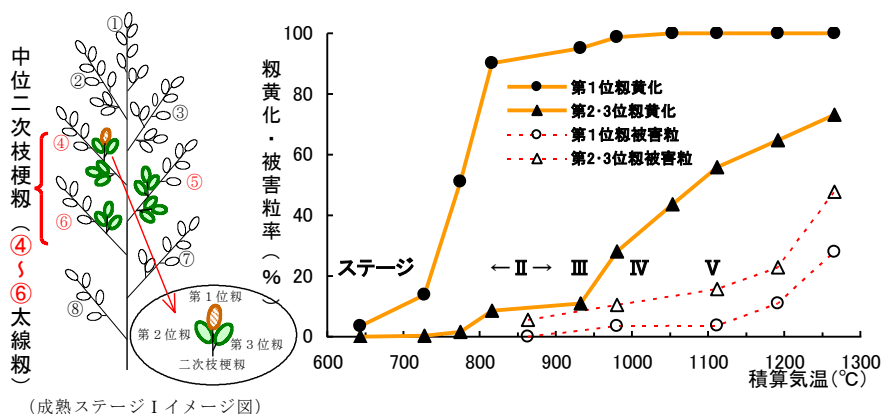


図1 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

2 良食味・高品質米に仕上げる収穫・乾燥調製

(1) 収穫作業

- コンバイン収穫では、籾水分が高いと損傷が多くなるので、籾水分 25%以下を目標に刈取作業をしましょう。
- 複数の品種の刈取りを行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- 倒伏している場合は、他の稲とは別に「刈分け」を実施し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。
- 鉄コーティング直播は特に倒伏しやすいので、刈取適期に達したら早めに収穫しましょう。

(2) 乾燥・調製作業

- 収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈取り後速やかに乾燥機に張り込み送風しましょう。
- 倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥(籾水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う)を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- 正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定することで過乾燥を防止しましょう。仕上がり玄米水分は14.5%~15.0%が目標です。
- 籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- 異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。

(3) 共同施設の利用

大規模共同乾燥調製施設(カントリーエレベーター等)を有する地域では、積極的に活用し、品質の向上と均一化、施設の利用率向上に努めましょう。

【まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全】

秋の農作業安全確認運動 ~平成30年9月15日から11月30日まで~